

令和 8 年度
(第 7 期)

経営方針・事業計画

笠間栗ファクトリー株式会社

当社は、公民農の連携を通じて「笠間の栗」を主体にした新たな地域価値を創出し、持続可能な地域経済の活性化と笠間市の魅力発信を主軸に、将来にわたって地域に貢献できる経営を行ってまいります。

また、栗加工事業による安定した収益確保を前提としながら、農家の所得向上（生産農家の維持）、販路拡大（認知度向上）、ブランド価値向上（地域活性化）、観光コンテンツづくり（地域活性化、交流人口創出）、多面的な取り組み（地域共創）を行い、笠間市の新たな魅力づくりに貢献するとともに、地域産業の発展や交流人口の創出を図ってまいります。



01 地域経済の活性化に資する持続可能なファクトリーオペレーションの構築

地域との共創関係を構築し、地域に根差した工場運営・商品提供・会社経営を通して、地域に利益を還元できる仕組みを構築します。

02 「笠間の栗ブランドの創出」及び「稼ぐ」土壌づくりの取り組み

当社が目指す将来像やお客さま（エンドユーザー）への提供価値を見据えた「笠間の栗ブランド」を創出し、栗をフックにした笠間市全体の価値向上に取り組めます。

03 販路拡大に向けたニーズの把握と製造、販売戦略の構築

当社製品の販売促進のため、業界でのニーズを把握し、それを加味した製造、販売戦略を構築します。具体的には、既存の製品を主力としつつ、新たな製品規格を考案するなど、ニーズに即した製品を製造することで大口取引先を確保し、安定的経営を図ります。

令和8年度(第7期)につきましては、令和7年度(第6期)の実績を踏まえ、下記の取り組みを行ってまいります。

原料栗の確保

主な原料供給元となるJA常陸との取引を継続するとともに、笠間市農業公社や一般生産者からの個別買取りの増量を見据えた交渉を行うなど、安定的な原料確保に努めます。

また、当社の収支状況を鑑み、買取平均単価を抑えるため、比較的安価なL・Mサイズを中心として、原料予定数量の確保に努めます。

R8年度 原料栗購入計画

数量	前年	前年比
75t	120.9t	62.0%

R8年度 原料栗買取金額

年度	数量	平均単価	金額
R8 (想定)	75.0t	750円/kg	56,250 千円
R7 (実績)	120.9t	749円/kg	90,575 千円

(税別)

製造量拡大への取り組み

現在、事業の主軸となっている栗ペーストの安定製造に努めるとともに、甘露煮の製造については作業工程の再確認を行い、製造の効率化を図ってまいります。

また、栗渋皮煮については、「冷凍栗からの製造」を目指し、工程の確立とマニュアル化を進めてまいります。

この他、食品安全管理体制の強化や工場稼働率の改善を継続して行うとともに、原料の品質向上に向けた取り組みをJA常陸と共に進めることで、更なる効率化と品質向上を目指してまいります。

R8年度 製品製造計画

	製品名	R8製造予定数量	R7実績
栗ペースト	無糖	3.1t	2.9t
	糖度30度	41.7t	72.1t
	糖度40度	1.5t	2.5t
	モンブランペースト	0.1t	0.1t
煮栗	栗甘露煮	0.4t	0.7t
	栗渋皮煮	0.1t	-
むき栗	むき栗	0.8t	0.8t
合計		47.7t	79.1t

01 笠間の栗のブランド化に向けた取り組み

- 今後も笠間市、茨城県、JR、卸問屋などと連携しながら、ホテル、レストラン、和洋菓子店等への積極的な営業と認知度向上に努めてまいります。

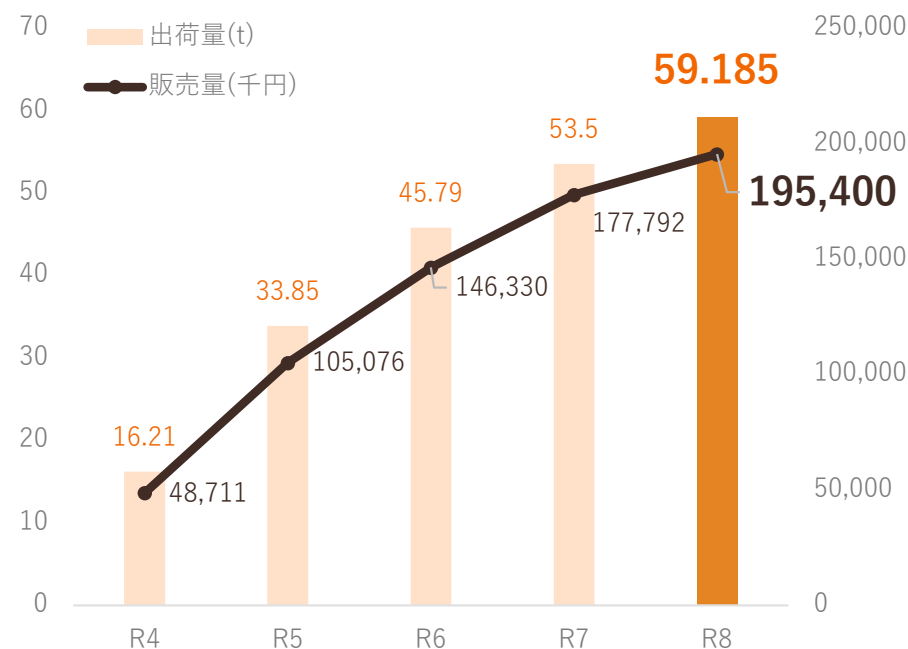
02 大口販路の確保

- 既存取引先の継続取引を確保しつつ収益安定のため、コンビニチェーンや大手菓子製造事業者への販路開拓を進め、収益の拡大を図ってまいります。
- 食に関する商談会（アグリフード、FABEX2026）への出展を行った結果、費用対効果が見込まれたことを踏まえ、今年度も商談会等に積極的に参加してまいります。

03 その他

- 栗甘露煮（渋皮付き）についての製造方法を確立し、要望がある取引先に提案を行い、令和9年度(第8期)からの安定出荷を目指してまいります。
- 地域産業の発展と交流人口の創出、また「笠間の栗」の更なる認知向上のため、地元イベント（笠間新栗まつり）等に出展するなど、関係機関との連携を進めてまいります。

販売実績の推移



■ FABEX展示会の様子



—— 将来的な取り組みイメージ ——

当社は、公民農連携を通じて「笠間の栗」を主体にした、新たな地域価値の創出と、持続可能な地域経済の活性化、笠間市の魅力発信を主軸に、将来にわたって地域に貢献できる経営を行ってまいります。

- 笠間の栗の付加価値化（加工販売、ブランディング）を通して、「地域づくり」への貢献を目指してまいります。
- 道の駅かさま等の地元事業者と連携し、地域産業（栗食文化）の発展と交流人口（栗観光）の創出による、地域活性化を目指してまいります。



人材の確保

令和8年度(第7期)の製造に向け、パート従業員の確保に努めます。

募集方法は、ハローワークの他、民間の求人サイトへの掲載等により実施するとともに、令和7年度(第6期)の経験者に再度勤務を依頼することで製造効率の維持・向上を図りつつ、新規雇用者を獲得することで、必要人員の確保に努めます。

また、現在、工場長（製造部長）の業務をサポートする副工場長候補者（正社員）の新規採用を進めており、製造部においてこれまで構築した知識や技術を継承し、永続的な会社経営に寄与してまいります。

■ 雇用計画

採用枠	R8雇用予定	R7雇用実績	雇用時期
パート従業員	20名	23名	7/27から
副工場長候補	1名	—	7～8月から

（栗ペースト製造必要人員：16人/日）

将来的に必要な人材の確保

今後経営を進めていく中で、出資三団体からの出向者に代わる人材を確保していく必要がございます。その受け入れ態勢の構築や、募集に関する整備を引き続き進めてまいります。

採用枠	人数	必要な能力
営業部長	1名	当社の成り立ち、製品の特性を理解しつつ、交渉を円滑に進めるコミュニケーション能力や相手方のニーズをとらえるヒアリング力、市場の動向や流れに反応するマーケティング能力など。
製造部長	1名	当社の主軸である製造に責任をもち、従業員や製造工程を管理する業務管理能力や問題解決能力、コスト削減や業務の効率化を進めるマネジメント能力、人材の採用や育成能力など。
総務部長	1名	会社運営に必要な多岐にわたる業務を円滑に進めるため、社員との意見交換のためのコミュニケーション能力やトラブルに対応する問題解決能力、経理や労務の管理を行う専門的な知識など。